

平成24年度埼玉県退職校長会の主な行事予定

- 定期総会・美術展：H24・6月8日(金) 川口市・川口総合文化センター(リリア)
- 支部総会：5月
- 理事会：H24・10月、H25・3月(年2回)
- 支部長会：H24・5月、9月、H25・2月(年3回)
- 県知事・県教委等への要望書提出：H24・9月他
- 「彩の国教育の日」協賛、現・退職校長教育推進協議会：H24・10～11月
- 現・退職校長会役員研究協議会 H24・12月
- 第7回ゴルフ大会：H24・10月10日(水) 吉見ゴルフ場
- 囲碁大会：H24・10月16日(火) 別所沼会館

支部情報

《「秩父支部退職校長会(清風会)」の活動紹介》

運営：総会 理事会(年3回)

行事：①清風会親睦バス旅行

旅行委員会～委員7名・3回開催(行き先・係分担・車中での催しなど決定)

・今年度は10月17日(月)、錦秋の白根山、小布施散策・信州リンゴ狩りなどを楽しんだ(日帰り、22名参加)

②清風会会報の発行：A4判、10頁 年2回 広報委員7名(委員会5～6回開催)

③「彩の国教育の日」協賛 現職・退職校長教育推進協議会

・提案者～現職・退職者から各1名

④新入会員歓迎会・懇親会開催(本年度は5月27日実施、支部総会終了後)

※ゴルフ同好会の活動が盛んで、福利厚生部会主催ゴルフ大会には毎回参加しそのつど好成績をあげている

平成24年度 教員採用選考試験結果

	埼玉県				さいたま市			
	1次受験者	1次合格者	採用候補者	倍率	受験者	1次合格者	2次合格者	倍率
小学校教員	2,581	1,350	752	3.4	548	360	160	3.4
中学校教員	2,545	725	366	7.0	556	213	90	6.2
養護教員	348	70	35	9.9	62	20	10	6.2
高等学校等教員	2,404	796	388	6.2				
合計	7,878	2,941	1,541	5.1	1,166	593	260	4.5

平成24年度 埼玉県管理職選考試験結果

	小中校長	小中教頭		県立学校	
		775(102)		102(9)	
		前期	後期	前期	後期
実受験者数	648(86)	596(90)	179(12)	67(5)	35(4)
※前後期別合格者		277(62)	53(12)	24(1)	9(2)
※前後期別倍率		2.15	3.38	2.79	3.89
最終合格者	200(33)	330(66)		33(3)	
最終合計倍率	3.24	2.35		3.09	

* () 内は女性(内数)

平成24年度

さいたま市管理職選考試験結果

	小中校長	小中教頭
実受験者数	101 (7)	106 (16)
最終合格者	31 (1)	33 (7)
最終倍率	3.26	3.21

* () 内は女性(内数)

『教師のための、なるほどQ&A』

—すぐ役立つ54のアイデア— 全国連合退職校長会編(東洋館出版社)

全連退より、上記タイトルの新刊図書が発刊されました。いま学校を取り巻く社会は急速な変化を見せています。子どもたちの規範意識、いじめ、不登校などの課題、教師の世代交代や保護者の過度の要求等の問題が生じているところです。本書は、長く学校で実践を積んだ先生方による執筆です。明日からの実践にすぐ役立つ具体的なヒント、指導のポイントが述べられています。読者には必ず「なるほど」と思わせることでしよう。

東洋館出版社

TEL(営業部) 03-3823-9206

Fax () 03-3823-9208

振替 00180-7-96823

◆全国書店での販売価格(税込) 1冊1,995円

全連退事務局

〒141-0022

東京都品川区東五反田5-21-13-308

TEL・Fax 03-3441-8768

◆5冊以上まとめて、ハガキで全連退事務局へ申し込まれると送料込みで、1冊1,800円です

年金改革と「共済年金制度」の動向

平成24年 3月10日記

◎政府・民主党が進めている「社会保障と税の一体改革」の法案国会提出をめぐり、年金制度改革の方向が注目を集めている。このうち、共済年金受給者に影響がある内容について、現時点の動向を紹介したい。

※ [註] 《現行の公的年金制度》⇒『若年世代が高齢世代を支える世代間扶養を行う仕組み。給付は3階建ての体系。』
 ・現役世代はすべて国民年金の被保険者となり、高齢期となれば国民年金（基礎年金）の給付を受ける＝【1階部分】。
 ・民間サラリーマンは厚生年金、公務員は共済年金に加入義務があり、基礎年金の上乗せとして報酬比例年金の給付を受ける＝【2階部分】。・共済年金受給者には上乗せ給付の「職域加算（1・2階部分の8%程度）」がある＝【3階部分】。
 ・公務員OBには、旧恩給制度（国は昭和34年、地方は37年廃止）による「追加費用」の受給者がいる。

◆基礎年金国庫負担割合の2分の1の恒久化のために

* 消費税引き上げ年度から消費税財源による国庫負担の割合2分の1を恒久化する。そのために必要な約2.6兆円は、消費税引き上げ年度までは負担を先送りする「年金交付国債」で手当てする。

◆物価スライド特例水準は解消する

* 本来の物価スライドによる年金額より現在2.5%高い水準（特例水準）で支給されているのを、平成24年度から26年度の3年間で解消する。（年金財政への影響は23年度までで約7兆円となっている）この法案を今通常国会に提出する。具体的な実施時期は、平成24年10月からとする。

◆高所得者の年金給付の見直しを図る

* 高所得者の老齢基礎年金について、国庫負担分の一部を減額する。高所得者とは年収850万円以上。

◆被用者年金一元化を目指して

* 共済年金制度を厚生年金に合わせる方向で、前回の法案（平成19年4月安倍内閣国会へ提出）をベースに検討する。（前回の法案については、ニュースレター第2号「共済年金制度の行方」を参照されたい）
 * 今回の政府・民主党の考え方の骨子は、①共済年金の1・2階部分の保険料率を厚生年金の保険料率に統一する。②共済年金制度における優遇部分については、厚生年金に合わせていくという視点から廃止すべきである。③共済年金にある公的年金としての3階部分「職域加算」は、廃止すべきであるがその時期等については検討する。④共済年金制度のみに存在する「追加費用」については、これを約3割削減する方針が示されていたが、それ以上の削減に早急に取り組むべきである。
 * 将来の完全年金一元化を目指している民主党は、共済年金受給者には極めて問題点の多い上記内容の実現を図るため、厚生年金保険法等の改正案を国会に提出予定という。

◇平成24年度の年金額は、0.3%の引き下げへ

* 上記とは別に、平成23年度平均全国物価指数の対前年比変動率マイナス0.3%を受け、厚生労働省は法律の規定により、平成24年度の年金額を0.3%引き下げると発表した。（1月17日）

★埼玉県退職校長会は、全国連合退職校長会・日本退職公務員連盟と連携し、「既裁定の年金は国が法律で約束したものであり、その権利は保証すること」等の要望活動を積極的に展開している。（ニュースレター第2・5号等参照）
 （日公連資料・退職公務員新聞第712号・新聞報道等による）

班別会員数（平成23年12月末現在）

埼玉県退職校長会

支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計
さいたま市	浦和	161	449	比	東松山	102	274	北埼玉	行田	67	315
	与野	28			滑川	18			羽生	74	
	大宮	204			嵐山	18			加須	174	
	岩槻	56			小川	41			埼玉葛	春日部	
北足立南部	川口	173	企	ときがわ	27	越谷	76				
	鳩ヶ谷	16		鳩山	10	久喜	121				
	蕨・戸田	62		川島	21	八潮	19				
	草加	76		吉見	24	蓮田	35				
北足立北部	朝霞	96	秩父	東秩父	13	三郷	34				
	上尾	97		秩父市	95	白岡	21				
入間	鴻巣	115	父	秩父	46	宮代	37				
	川越	148		小鹿野	29	幸手	48				
	狭山	56		皆野	40	杉戸	29				
	所沢	114	児玉	本庄	53	松伏	14				
	飯能	76		本庄児玉	27	吉川	29				
	日高	38		上里	19	全会員数	3529名				
	越生	23		美里	14						
	毛呂山	32	神川	18							
	坂戸	64	大里	熊谷	195	326					
	鶴ヶ島	15		深谷	89						
入間	45	寄居		42							
東部	50										